

まちの話 だい

1月13日 | 3カ国の文化を学ぶ

島田第二小学校の6年生が、スリランカ・フィリピン・ミャンマーの文化や暮らしを学びました。

授業には、地域学校協働本部事業の一環として、掛川日本語学校の学生が講師として参加。模造紙やモニターを使い、出身国の文化などを紹介しました。授業を受けた児童は、「外国の文化を楽しく学び「海外の生活を知れてよかった。いつか行ってみたい」と感想を話しました。



1月22日 | 川根で新たな緑茶体験

(一社) 島田市観光協会は、地場産品を体験する「しまだ茶ーリズム事業」を始動させました。

市内の複数事業者が参画し、島田産の緑茶を使った体験型商品を開発。その1つ「しまだ茶ウナ」では、たる型サウナの中に、北欧では白樺の葉を用いるマッサージ用の「ヴィヒタ」ならぬ、茶樹を束ねた「茶ヒタ」が用意されています。利用者は、お茶の香りに包まれながら、リフレッシュした様子でした。

1月7日 | 無病息災を願う伝統行事

千葉山智満寺で、400年以上受け継がれる伝統行事「鬼払い」が行われました。

元日から7日までの正月の法要を締めくくるこの儀式では、本堂の背後から松明を持って現れ、堂内を暴れ回る赤・青・白の3体の鬼を、住職の読経によって退治。1年間の無病息災を願います。鬼は、人の持つ煩惱(むさぼり・怒り・ねたみの心)を表すとされています。

